

八戸南ロータリークラブ杯 第2回青森県小学生クロスアイス大会



令和 8年 2月11日(水) 8時30分 ~ 12時45分

〔会場〕テクノルアイスパーク八戸

主催 : 八戸南ロータリークラブ
共催 : 青森県アイスホッケー連盟
主管 : 青森県チビッコアイスホッケー運営協議会

八戸南ロータリークラブ杯
第2回青森県小学生クロスアイス大会
開 催 要 項

1. 大会名 八戸南ロータリークラブ杯 第2回青森県小学生クロスアイス大会
2. 主催 八戸南ロータリークラブ
3. 共催 青森県アイスホッケー連盟
4. 主管 青森県チビッコアイスホッケー運営協議会
5. 開催期日 令和 8年 2月11日(水・祝) 8時30分 ~ 12時45分
6. 開催場所 テクノルアイスパーク八戸
7. 参加チーム 八戸ホワイトベア Hachinohe Club U-12 (A)
八戸シーガールズ Hachinohe Club U-12 (B)
八戸南ジュニア ななっちふくちジュニア
八戸北・青森ジュニア合同 三沢ジュニア 以上、8チーム
8. 競技規則 国際競技規則並びに(公財)日本アイスホッケー連盟の定めるローカルルールを原則とし、青森県チビッコアイスホッケー運営協議会の定めるローカルルールによるものとする。
9. 競技方法 トーナメント方式による。3位決定戦及び順位戦も行う。
3vs3で行い、クロスアイスサイズ、中間サイズのゴール、通常パックを使用する。
30分終了時、同点の場合、直ちにサドンデス方式によるペナルティーショットシュートアウト(PSS)で勝敗を決する。
10. 競技時間 ロス込み30分 練習なし
※ ペナルティ発生時は、当該選手のみ2分間の出場停止。試合は同数で行う。
※ タイムアウトはないものとする。
※ 整氷はタイムスケジュールに記載の通りに行う。整氷時のクロスアイスボード・ゴールの移動については、担当チームが氷上内で移動・待機し、整氷車の邪魔にならないよう、事故のないように行う。
11. 参加制限 令和7年度の4年生以下とする。(PeeWee登録選手、及び未就学児を除く)
スタッフは、原則としてプログラムにスタッフ登録している者とする。

12. オフィシャル オフィシャルは、「レフェリー（2名）」「タイムキーパー（1名）」「得点掲示（2名）」、「試合結果記入（1名）」を行う。
クロスアイスボードの設置・撤去担当は、時間になったら又は試合が終了したら、速やかにクロスアイスボード、ゴールの設置・撤去を行う。
13. 開会式 行わない
14. 表彰式 表彰式は、最終試合終了後、ただちに閉会式と併せて行う。
15. その他 ◇個人情報および肖像権に関して、以下のように取り扱う。
- ①主催者は、個人情報の取扱いについて、個人情報の保護に関する法律、及び関連法令等を遵守する。（参加申込書等により取得した個人情報は、大会参加資格審査、プログラム作成及び結果（記録）発表等、競技の運営に利用する）
 - ②大会の映像や写真、競技結果等は、主催者及び主催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム、ポスター、テレビ、ラジオ放送、新聞、雑誌、インターネット（SNS）等に利用することがある。
 - ③主催者の許可を受けた事業者が、記念写真等の販売を行うことがある。
 - ④主催者は、参加申込書の提出により上記の取扱いに関する承諾を得たものとする。

青森県チビッコアイスホッケー運営協議会

活動理念

勝利至上主義ではなく育成指導主義の導入

勝敗によって試合数が異なるリーグではなく、定期的な試合を行うことにより、適切にレベル分けしたリーグで、平等で質の高い試合数を確保します。平等で質の高い試合数の確保により、各チーム、子ども達がアイスホッケーを楽しみ、あきらめずにチャレンジし続ける環境づくりを目指し下記3つを掲げます。

1. 【地域課題】

肥満児が全国ワーストである青森において、運動・アイスホッケーが子ども達の日常生活の一部になるような習慣づくりに務め、子ども達が体を鍛え、心身ともに健康な体づくりができる環境整備を目指します。

2. 【地域アイデンティティー】

「挨拶、感謝、喜びを言葉と態度で表現できる選手育成」、「青森県からフリーブレイズの選手、世界に通用する選手を輩出できる選手育成」、地域が誇れるスポーツを目指します。将来、夢や目標を支えてくれた地域に恩返しをしたい、と思われるような環境整備を目指します。

3. 【夢・挑戦】

アイスホッケーを通じ、勝つ喜び負ける悔しさ、練習してできなかったことができるようになった“習得”することの楽しさを経験してもらい、夢や目標に向かってチャレンジする素晴らしさ、努力する大切さを体感できる環境づくりを目指します。

親の心得 10ヶ条

1. 試合や練習を見に行きあげましょう。子供はそれを望んでいます。

親が試合や練習を見に来る子供は上達する子が多いです。子供達は、監督・コーチに認められるよりも、お父さん・お母さんに出来たこと、頑張ったことを見てもらいたいものです。そしてそれが出来た時、頑張った時に認めてもらい、褒めてもらいたいものです。アイスホッケーに限らず、積極的に子供達の活動を見てあげてください。ただし、試合や練習を見に行き自分の子供に「みんなは出来るのにどうしてあなたは出来ないの？」というのは逆効果です。

2. 試合中はすべてのプレーヤーに励ましの言葉を送りましょう。

あなたの息子さん、娘さんにだけでなく。

自分の子供「だけ」を応援している保護者がいらっしゃいます。アイスホッケーは団体競技というのは子供でも知っています。「みんなでやっている」のに、自分の保護者が自分のこと「だけ」を応援していたら、恥ずかしいという気持ちが働き、楽しくプレー出来なくなります。

自分のチーム、相手のチーム問わず、素晴らしいプレーをした場合は「ナイスプレー」と言い、拍手を送ってあげましょう。

3. 成功も失敗にも同じように声援を送りましょう。

批判ではなく、ポジティブな声をかけてあげてください。

調子が悪かったり、ミスしたりするのは誰にでもあることです。「何で出来ないの？」や「なんであんな所でミスするの？」と言っていないでしょうか。調子が悪いことは自分が一番分かっています。それを保護者から言われると逃げ場がなくなってしまいます。良かった所を褒め、勇気づけてあげてください。

**4. コーチの選手起用を尊重しましょう。
試合中に選手起用について影響を与えようとするのはやめましょう。**

チームに預けたお子さんは、コーチを信頼し選手起用は任せましょう。一保護者の働きかけが選手起用に影響を与えてしまうと、子供達や他の保護者に戸惑いが生じます。

5. レフリーを務める人は、子ども達に怪我が生じないよう、ご配慮をお願いします。また、レフリーの判定を批判してはいけません。

国際試合においてもミスジャッジはあります。審判は公平かつ安全に試合をコントロールするように努力しています。ミスジャッジによる批判は、子供達に悪い影響を与えてしまいます。審判や保護者の協力があり試合が行えることを理解してください。

**6. 子どもが参加する事を刺激し、勇気づけてあげましょう。
プレッシャーにならないように。**

アイスホッケーをやっていると、どんな子供でもいやになる時があります。些細なきっかけにより、「練習に行きたくない！」症候群は6年間の中で必ず何回かはあるものです。それを「何言ってんの、みんな行ってるよ！、早く行きなさい！！」と理由を聞かず言ってないでしょうか？

そんな時、親として理由を汲み取り、彼らを「勇気づけて」あげましょう。

試合の時に「今日は頑張って1点とって来るんだよ！お前なら絶対取れるからね！」と送り出すのと「今日の試合で点数取れなかったら晩メシ抜きだよ！」では雲泥の差がありますよね。

言葉の掛け方一つで、プレッシャーになったり、勇気づけられたりするのです。保護者のちょっとした言葉遣いで、子供達の気持ちに「前向き」になったり「プレッシャー」になったりします。ぜひ、ポジティブな声をかけて勇気づけてあげてください。

7. 試合の後は結果の話だけでなく、覚えているプレー、楽しかったシーンなどについても話し合しましょう。

子供が試合から帰ってきて、「勝ったの？」「勝ったよ」「良かったね」みたいな会話しかしていないご家庭もあるのではないのでしょうか？

試合の目的は「勝つ」ことだけではないのです。

特に練習試合では必ず課題があり、勝敗にこだわらない場合があります。指導者がいくら頑張ってそれを説いた所で、保護者の興味がそれしかなければ、子供達は「勝てばいいんだろ」と思ってしまうかもしれません。試合の内容はどうだったのか？ その中で自分は何が出来たか？ 楽しかったか？「勝ち／負け」だけではなく、いろいろ聞いてあげてください。また「ねえねえ、今日の試合ねえ・・・」と子供達が話し始めたら聞き流さないで、しっかり聞いてあげてください。

子供は「親に認められたい」のです。

良かった事、悪かった事、しっかり聞いて褒めてあげて、励ましてあげてください。

8. 所属クラブの運営には尊敬の念を持って接しましょう。保護者と指導者間のミーティングでは、明確な指針を持ち、どのような態度で子どもに接するのかを話し合しましょう。

「クラブ」と「保護者」の関わり合いについては、しっかり合意が取れている必要があります。

クラブ運営のほとんどは、保護者やOBが中心となった「ボランティア」のはずですから、「クラブの仕事＝親の仕事」になっていると思います。そして、大抵が「役員」と呼ばれる数名の幹部の方が中心となり「クラブ」の舵取りをしているはずはです。

よくある話なのですが、その「役員」と「一般保護者」の「意見相違」によりチーム運営が乱れてしまいます。挙句の果てには子供共々退部するような騒動にも発展し、それこそ「何のためにやっているのか？」本末転倒状態になってしまう。こういった事態は絶対「子供のため」にはなりません。これを避けるためには、やはりコミュニケーションと相互理解が必要です。「クラブの仕事」は誰かがやらなければなりません。所属している「クラブ」がどのような性格を持ち、「保護者」としての役割分担や義務がどのようになっているのか、しっかり理解しておくことが大切だと思います。

9. 子供と同じ控え室や遠征先、室内でのタバコは控えましょう。

子供の受動喫煙による健康被害は、乳幼児突然死症候群（SIDS）、呼吸器症状（せき、たん、息切れなど）・気管支炎、肺炎、中耳炎などです。タバコはSIDSのリスク因子であり、父親と母親が喫煙者である場合は、リスクが10倍になるといわれています。また、成人になってからの肥満、糖尿病、メタボリックシンドロームに関連があることがわかってきました。

健康被害のほかにも、家庭で受動喫煙にさらされている子供は、数学および読解力が低下するというデータが報告されています。子供に「勉強しなさい」という前に、大人が禁煙を考えることが先決です。

子供の健康と将来を守るため、最低限、控え室や遠征先、子供と同じ部屋、移動中、会合などでの喫煙は控えましょう。

10. アイスホッケーをプレーしているのは子どもたちです。

決してあなた自身ではありません！

親が一生懸命であればあるほど、「子供」ではなく「保護者」が主役になってしまいます。しかし、今プレーしているのはあなたの子供です。忘れないで下さい、一生懸命頑張っている主役は、あなたではなく、あなたの子どもだということを…。

• • • MEMO • • •

八戸南ロータリークラブ杯 第2回青森県小学生クロスアイス大会 競技日程

開催日：2026/ 2/11(水・祝)

会 場：テクノルアイスパーク八戸

| 試合No. | グループ | | 試 合 | | | | 試合時間 | オフィシャル |
|-------|--------|-------|-------------|----|--|-------|-------------|---------|
| | | | クロスアイスボード設置 | | | | 08:30-08:40 | 南 |
| ① | Spuirt | 一回戦 | ふくち | VS | | 北・青森 | 08:40-09:15 | シーガルズ |
| ② | | | ハチクラA | VS | | 南 | | |
| ③ | Spuirt | 一回戦 | ホワイトベア | VS | | 三沢 | 09:15-09:50 | ①の負け |
| ④ | | | ハチクラB | VS | | シーガルズ | | |
| ⑤ | Spuirt | 敗者戦 | ①の負け | VS | | ②の負け | 09:50-10:25 | ③の勝ち |
| ⑥ | | | ③の負け | VS | | ④の負け | | |
| ⑦ | Spuirt | 準決勝 | ①の勝ち | VS | | ②の勝ち | 10:25-11:00 | ③の負け |
| ⑧ | | | ③の勝ち | VS | | ④の勝ち | | |
| | | | クロスアイスボード移動 | | | | 11:00-11:20 | ハチクラA・B |
| | | | 整 氷 | | | | | |
| ⑨ | Spuirt | 7位決定戦 | ⑤の負け | | | ⑥の負け | 11:20-11:55 | ④の勝ち |
| ⑩ | | 5位決定戦 | ⑤の勝ち | | | ⑥の勝ち | | |
| ⑪ | Spuirt | 3位決定戦 | ⑦の負け | | | ⑧の負け | 11:55-12:30 | ⑤⑥の負け |
| ⑫ | | 決勝戦 | ⑦の勝ち | | | ⑧の勝ち | | |
| * | | | 表 彰 式 | | | | 12:30-12:45 | |

協賛企業一覧

ならばは順不同





